

平成21年度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：生体安全医学講座

所 属 長：吉川 敏一

1 寄附講座の目的

生体における食品や化粧品などの安全性を評価する国際的基準を設定することにより、健康寿命（健康で明るく元気に生活し、稔り豊かで満足できる生涯）の伸に貢献することを目的として設置する。

2 報告年度に係る取組状況

環境ホルモン、食品添加物、防腐剤(食品および化粧品)などの生体安全性を出来るだけ早期に評価する系を探索した。

試料として外的刺激にもっとも弱いと考えられる精子を用い、Gene chip、運動能に加えミトコンドリアからの活性酸素の漏れを測定することで評価できないかどうかを検討し、いくつかの系を組み合わせることにより、生体安全性の評価がこれまでの評価より早い時期に判定できることが判明した。一般の変異原性試験や動物に一年以上投与して何か変化が現れないかという評価系に比べて、簡便であり、この系で変化が現れば、長期投与でかなりのダメージが予測できる。詳細については論文にまとめる予定である。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

特許出願準備のため、発表なし。